

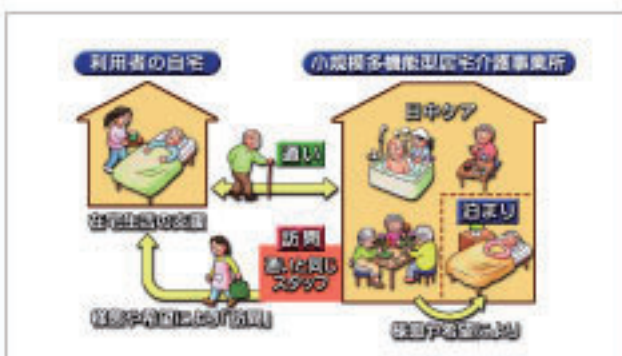
必見! 新たな地域密着型介護サービスの実際

求められる 地域介護サービスと認知症ケア

DVD全2巻 ¥15,000-(税・送別) 1巻、2巻別売 ¥9,000-(税・送別)
監修 柴田範子(NPO法人 楽 理事長、日本介護福祉士会副会長、東洋大学)
協力 杉山孝博(川崎幸クリニック) 三浦研(大阪市立大学) 渡辺道代(岩手県立大学)
対象 ケアマネージャー、介護福祉士、ホームヘルパー、介護福祉施設職員、介護福祉士、養成校教員、
福祉・介護関係機関、医療・保健・福祉関係者、利用者家族

第1巻
小規模多機能型居宅介護とは
(32分)

第2巻
小規模多機能型居宅介護の実際(51分)
— 認知症ケアの理解を深める —
事例別解説なし(30分)



<企画意図>

平成18年4月からの介護保険制度改正により、認知症や中重度の病気や障害をもってでもできる限り住み慣れた地域でこれまでの生活が継続できるように、新たなサービス体系として地域密着型サービス 小規模多機能型居宅介護が創設されました。

小規模多機能型居宅介護は、「通い」を中心に利用者1人ひとりの様態や生活パターン・希望などに応じて「訪問」や「泊まり」を組み合わせてサービスを提供するもので、たとえ、介護度が中重度となっても在宅での生活が継続できるように支援するものです。

本作品は、この制度とサービスの実際、事例検討に基づく認知症ケアのこれからを考えます。

監修にあたって 柴田範子

私自身が運営しているひつじ雲を、私は都市型小規模多機能型居宅介護と勝手に銘々しています。既に小規模多機能型居宅介護は全国に1000ヶ所を超え、今後も増え続けていく勢いがあります。旭川、広島の代表者の方々の協力をいただき、小規模多機能型居宅介護の様々な取り組みと建物をDVDにまとめることができました。

また、主体は介護サービスを利用している方々であること、理解を深めていただき、利用者の方々が家族・介護職員や他の職種の方々とどのようなかかわりを持って生活しているのか、生活上の課題は何かなど、学びを深めるための教材にいただければ幸いです。多くの方々のご協力の上で完成したことを感謝申し上げたいと思います。

企画・製作・発売

東京シネ・ビデオ株式会社

〒164-0001 東京都中野区中野2-13-21 パールミサト103

電話(03)5342-5381 FAX(03)5342-5384

<http://www.tokyocine-video.co.jp>

E-mail: info@tokyocine-video.co.jp

小規模多機能型居宅介護とは

第1巻 構成内容

- 1) 広島県福山市、江戸時代のお酢家を改修した施設「鞠の浦さくらホーム」に併設して誕生した小規模多機能型居宅介護施設「さくら家」は、主に認知症の高齢者のケアにあっている
- 2) 小規模多機能型居宅介護の概要
- 3) 川崎市「ひつじ雲」の場合の実際
機能-通い、訪問、泊まり、家族への対応
- 4) 医療機関との連携・職員教育
訪問診療-川崎幸クリニック杉山医師 の訪問診療と認知症ケアの解説
ケアマネージャーの役割
- 5) 地域の人たちとの連携
運営推進会議・スタッフ会議
- 6) サテライト型・小規模多機能型居宅介護施設、北海道、美瑛町の場合
特別養護老人ホーム慈光苑が民家を改修して小規模多機能型居宅介護サービスを始めた「虹」の事例
いくつかの福祉施設と共存し作られたサポートセンター「燈」
遠距離地区の高齢者をカバーするために 立ち上げられた小規模多機能型居宅介護施設「七彩」の事例
- 7) 建築学的視点から見た、小規模多機能型居宅介護施設の良さと、地域の環境を生かしたサービスの可能性について-
大阪市立大学・三浦研氏の解説
- 8) まとめ-柴田範子氏(監修)

小規模多機能型居宅介護の実際 - 認知症ケアの理解を深める -

第2巻 構成内容

第2巻は、「ひつじ雲」のサービスを活用している、3組の利用者とその家族、スタッフの対応事例を通して、小規模多機能型居宅介護における、認知症ケアの課題と問題点を検証し考える構成になっています。

また教育の場で、利用して頂けるよう、3事例の解説なしのバージョンを付録として用意しました。

- 1) 「通い」を中心として、「訪問」や「泊まり」を組み合わせたケアの連続性とケアマネジメント
これまでの課題とこれからの認知症ケア
杉山医師による解説
- 2) Aさん99歳・要介護5の場合
高齢な母親を、その娘さん一人が介護するため小規模多機能型介護の利用が必要不可欠な事例
- 3) Bさん81歳・要介護4の場合
体調や時間による変化が激しく、他の利用者とうまく接することが出来ない等、多角的な対応が必要な事例
- 4) Cさん85歳・要介護5の場合
夫と別居し娘家族が介護。「ひつじ雲」を利用するようになり落ち着きを取り戻し、家族の負担が軽減した事例
この3事例を通して、柴田範子氏と岩手県立大学・渡辺道代氏の対談による検証とこれからの課題分析
- 5) これからの認知症ケア（キーワード）

<協力>

「ひつじ雲」をご利用の皆様とご家族 「ひつじ雲」の職員、関係者の皆様 「鞠の浦さくらホーム」関係者の皆様
美瑛 慈光苑 「虹」関係者の皆様 サポートセンター「燈」 「七彩」関係者の皆様

<スタッフ>

製作 横川 元彦 選曲 矢込 弘明 ナレーション 中村 啓子
プロデューサー 川尾 俊昭 M A ヒガ&アーツ
撮影 常田 高志 演出 鈴木 政信